

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	自衛隊横須賀病院	階数	地上5F、地下1F
建設地	横須賀市田浦港町無番地	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火・準防火指定なし	平均居住人員	394 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年5月 予定	評価の実施日	2023年7月7日
敷地面積	11,562 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社山下設計
建築面積	5,562 m <sup>2</sup>	確認日	2023年7月7日
延床面積	23,031 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社山下設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.2**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.2**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が前向きな気持ちで回復に向かえる施設づくりに配慮した。</li> <li>・自衛隊病院として、有事・災害時にも継続的に利用できる耐久性を確保した。</li> </ul>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病室は大型開口部の設置により自然通風や自然採光を確保した。</li> <li>・ベッド毎に個別制御可能な照明を設置することで、良好な療養環境に配慮した。</li> <li>・利用患者に配慮し、敷地全体を禁煙とする計画とした。</li> </ul>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病室は十分な広さおよび高さを確保し、療養環境の向上に配慮した。</li> <li>・長寿命建築を目指し、免震装置の設置及び十分な耐久性を確保した。</li> <li>・維持管理のしやすさや更新性に配慮した計画とした。</li> </ul>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低層部は既設基地の塀との連続性を図るためにレンガ風装飾仕上とし、高層部は既存の自衛隊施設の調和を図るために白基調する等、まちなみや風景にバランスよく調和させる計画とした。</li> </ul>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空冷ヒートポンプパッケージ型空調機、ヒートポンプクーラーによる高効率機器による空調方式とした。</li> </ul>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築資材に、積極的にリサイクル材(特定調達品目)を取り入れ、環境負荷低減に配慮した。</li> </ul>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内に十分な駐車スペースを設置し、車両出入口は国道16号から距離を確保することで、周辺道路の渋滞要因とならないよう配慮した。</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される